

【目指す学校像】

「子どもたち一人一人のよさや可能性を最大限に伸ばし、保護者や地域から信頼される学校」
 ~子どもが主役の学校、保護者が安心する学校、地域が誇りに思う学校、教職員が生きがいを感じる学校

【教育目標】

◎元気な子

○考える子

○がんばる子

○やさしい子

【おおた教育ビジョン】

教育基本法の本質にのっとり大田区基本構想が掲げた大田区の将来像の実現に向けて、その基本目標の一つ「未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち」を重点課題に設定し、

- 「意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動することも」
- 「多様性を尊重し、自分や人を大切にして生きること」
- 「地域とつながり、社会の一員として貢献しようとする子ども」
- 「自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出す子ども」

の育成に向けた教育を展開する。



【経営理念】

- 1 人権理解を深めるとともに具体的な行動に結び付く取組に努め、自他の人権を尊重する態度の育成を図る。
 - (1) 道徳性、社会性を身に付けさせる取組
 - (2) 学級、学年、全校で一人一人が尊重される教育
- 2 基礎学力の定着と課題解決力の育成に努め、未来を担う人づくりと、保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。
 - (1) 個々の能力や可能性を最大限に発揮させる取組
 - (2) 予測困難な未来社会を生きる力を育む教育
- 3 学校、家庭、地域が子どもの健やかな成長を願い、協働して行動する環境の整備に努め、家庭や地域社会との連携を深める。
 - (1) 外部人材やボランティアとの連携による教育
 - (2) 家庭、地域に信頼される教育活動や取組



【基本方針】

子どもたち一人一人の人権を尊重し、学校・家庭・地域社会の連携の下、創立100年の歴史と伝統を継承し、子どもたちの未来づくりにつながる学校経営を進めることで、子どもたちが知性、道徳心、健康・体力を育み、夢や希望を抱き、自ら学ぶことを支援する教育の創造に努める。

- 1 豊かな人間性と社会性の育成
 - 【挨拶、関わり、思いやり】
 - (1) 秩序ある環境の下、基本的な生活習慣と規律ある生活態度を身に付けさせる。
 - (2) 学校内外における多様な人との関わりを通して、思いやりの心を育て、望ましい人間関係を築かせる。
- 2 確かな学力の育成
 - 【分かる・できる・使える知識と技能】
 - (1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を育成するアクティブ・ラーニングの充実を図る。
 - (2) 課題解決学習や体験学習を重視し、子どもたち一人一人が目標を達成し、自己肯定感を高めることができるようにする。
- 3 地域教育力の有効活用と開かれた学校づくり
 - 【100周年プロジェクト】
 - (1) 地域の人材、施設、企業、保護者との連携を生かした教科横断的な学習活動の充実を図る。
 - (2) 学校の取組や子どもたちの学びに関わる情報を積極的に発信し、100周年行事を通して、保護者や地域とのつながりを深める。



【基本戦略】

- 1 道徳的実践力の育成と多様性理解教育の充実を図る。
 - 良好な言語環境とコミュニケーションを目指した挨拶と言葉遣いの指導
 - 道徳科を要とした規範意識の向上を図る教育と自他の人権を尊重する教育の充実
 - 様々な人との関わりから学ぶ体験的活動、奉仕活動、異年齢交流活動の充実
 - インクルーシブ教育の推進と教育相談体制の充実
- 2 指導内容や指導方法を改善し、授業の質を高める。
 - 組織的なOJTを経た指導計画に基づく意図的で計画的な授業実践
 - 思考力・判断力・表現力を育むための主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - タブレット端末を活用した学習習慣と基礎学力の定着、ICTを効果的に活用したアクティブ・ラーニングを生み出す授業展開
 - 「健康教育」を追究する校内研究を柱に据えた運動に親しむ環境づくり、保健学習と食育の充実
- 3 学校と地域の特色を生かした教育活動を展開する。
 - 関連諸機関との連携を生かした校内研究「未来をつくる健康教育」の推進
 - 地域教育力を有効活用した教育活動の推進
 - スクールサポートおおさん(学校地域支援本部)の活動の充実
 - 地域愛を育む教育の充実と地域行事への積極的参加



【教育目標の具現化に向けた取組】

- 1 豊かな人間性と社会性の育成に向けて
 - 「大三小10のやくそく」の指導 ○挨拶、返事、礼儀についての理解と行動化の徹底 ○早寝・早起き・朝ご飯週間や歯磨き指導の設定 ○相手を思いやる言葉遣いの指導 ○学級集団調査を活用した自尊感情を高める学級経営の推進
 - 「いじめ」「体罰」「不登校」などの教育課題への組織的取組 ○学校生活調査を活用した児童理解と教育相談体制の充実 ○インクルーシブ教育の推進 ○縦割り班活動の充実 ○近隣保育園・幼稚園・中学校・高等学校との交流
- 2 確かな学力の育成に向けて
 - 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○習熟度別少人数指導の全学年実施 ○補習教室の実施 ○ICTや電子黒板を有効活用した授業展開 ○タブレット端末の家庭学習での活用 ○読書指導の充実
 - 学習カルテを活用した学習カウンセリング ○学力調査の結果分析と指導への反映 ○漢字検定の実施 ○OJT(レインボー研修)の充実 ○校内研究を柱に据えた健康教育の推進 ○理科支援員の活用 ○英語カフェの活用
- 3 地域教育力の有効活用と開かれた学校づくりに向け
 - スクールサポートおおさん(学校地域支援本部)による地域人材を活用した教育活動 ○地域と連携した挨拶運動や奉仕活動 ○地域の商店・工場・企業・大学等と連携した教育の推進 ○地域と連携した防災訓練・防災マニュアルの改善
 - 学校だよりやホームページなどによる保護者や地域への広報活動 ○地域行事やPTA行事への参加 ○放課後ひろば・休日校庭開放・夏休みわくわくスクールなどの子どもたちの居場所づくりの推進 ○100周年プロジェクトの活性化